

「ふるさとふくしま応援寄附金」の受入実績と使途について

平成23年度の「ふるさとふくしま応援寄附金」（ふるさと納税）の受入額とその使途は下記のとおりです。

記

1 寄附金の実績

寄附件数 4,280件
寄附金額 274,298,799円

なお、お申込時に希望された寄附金の「使いみち」の内訳は下の表のとおりです。

項目	件数	金額(円)
① 自然環境の保全	129	10,001,200
② 次世代育成支援	308	23,674,852
③ 本県の活力増進	577	39,555,827
④ おまかせ(災害復旧・復興に充当)	3,266	201,066,920
合計	4,280	274,298,799

2 寄附金の活用状況

下記の事業に充当させていただきました。

① 自然環境の保全

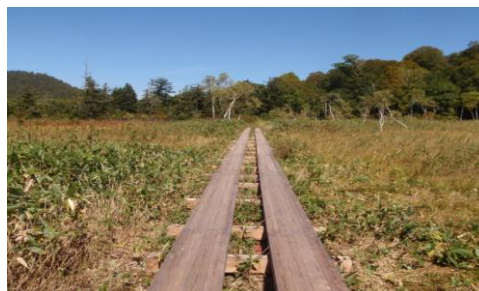
・ ふくしま子ども自然環境学習推進事業

本県の子どもたちを対象に「尾瀬」の優れた自然環境の中で行う質の高い環境学習を推進し、自然との共生に対する意識の醸成を図り、豊かな自然環境を次世代に継承するため、尾瀬での環境学習を実施する小・中学校等に対して支援を行いました。



・尾瀬歩道整備事業

尾瀬ヶ原と三条の滝を結ぶ「尾瀬ヶ原三条の滝線」の荒廃が著しいことから、尾瀬の素晴らしい風致景観の維持と利用者の安全と利便性の向上を図るため、木道等の施設を整備しました。



・県営林の保育管理事業

県内各地の県有林等について、水源かん養機能等の森林の持つ公益的機能の維持・増進のため、除伐や間伐等、森林の整備に関する各種施業を実施しました。



②次世代育成支援

・21世紀ふくしま文化担い手育成事業

子どもたちの文化芸術活動への積極的な参画のため、文学、音楽などそれぞれの分野における講座「ふくしま文化少年倶楽部」を開催しました。



・子育て応援パスポート事業

18歳未満の子どもを持つ世帯を応援するため、協賛店の協力により各種サービスが受けられるカード（愛称「ファミたんカード」）を交付し、利用者の利便性を向上させるため、事業の周知を図るとともに、さらに協賛店舗数を拡大しました。



・学力向上推進支援事業

小・中学校においては、児童生徒の学習習慣の確立、算数・数学を中心とした指導体制の充実などにより学力向上を図り、高等学校においては、生徒一人ひとりの進路希望実現のため、大学進学に向けた取組みや、確かな学力向上のための基礎力育成・キャリア教育に関する取組みの支援などを行いました。



・豊かな心をはぐくむ子ども読書活動推進事業

地域で子どもの読書活動を推進する資質向上を図り、学校図書館の支援等もできる人材を育成しました。県内4管内で、読書アドバイザーや図書館司書などの講義のほか、活躍されているボランティアからの事例発表、意見交流会等の研修講座を実施しました。



・子どもをはぐくむ家庭・地域支援事業

保護者が子育てに意欲を高め、自信を持って役割を果たせるようにするために、関係団体等との連携により、地域家庭教育推進会議や県内7地区で地域家庭教育ブロック会議、県内2地区で地域家庭教育ブロックセミナーを開催しました。



③ 本県の活力増進

・地域づくり総合支援事業

地域住民や地域団体などによる地域活動の支援をしました。平成23年度からは東日本大震災等を踏まえ、復興関連の取組みを最優先し、これまで、県産品のPR事業や、避難者と地域住民との交流イベント、復興関連の情報発信事業などを実施しました。



・**「陸上王国福島」基盤整備事業**

本県が誇れる駅伝や福島大学の陸上競技などの財産をさらに大きく伸ばし、「陸上王国福島」の確立を目指すため、トップアスリートを招聘しての強化練習会などを行いました。



・**ふくしま医療福祉機器グローバル展開事業**

「うつくしま次世代医療産業集積プロジェクト」により培われた、県内企業等が有する技術・製品を広く国内外に発信し、販路拡大を図りました。



・**八重洲観光交流館管理運営事業**

本県の総合的な情報発信拠点である「八重洲観光交流館」において、県内各観光地の案内、PRを実施するため、農林水産物や地酒等の特産物、民芸品の県産品を展示、紹介、販売するとともに、県内市町村や観光団体等と連携の上、恒常的な催事等の企画により来場者の確保を図るなど、積極的な情報発信を実施しました。



・**ふくしま定住・二地域居住推進戦略事業**

東京の相談窓口「ふるさとふくしま情報センター」を運営し、本県への定住・二地域居住を促進するとともに、ふくしまファンクラブなどにより、本県における田舎暮らしをPRしました。



・首都圏アンテナショップ事業

県産品の新たな商品開発や販売戦略の構築を図るため、首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」の運営及び販売促進事業を実施しました。



・ふくしま・地域産業6次化推進事業

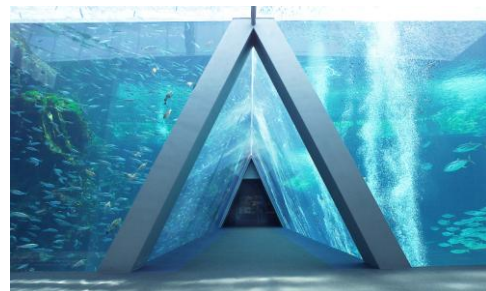
東日本大震災と原子力災害による甚大な被害を受けた本県農林水産業の真の復興を果たすため、人材を発掘・育成する「ふくしま・6次化創業塾」を開催するとともに、本県の「食の魅力」を県内外に発信するなど、農林漁業者が異業種（2次・3次産業）へ参入する創業（起業）や、県産農林水産物を原料とした新商品の開発を支援しました。



④ おまかせ（災害復旧・復興に充当）

・ふくしま海洋科学館災害復旧事業

東日本大震災により罹災した、ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）を復旧させるために、必要な調査・設計等を行いました。



・「がんばろう ふくしま！」運動推進事業

原子力災害に伴う風評被害の克服のため、首都圏等の大消費地や県内において、街頭キャンペーンや各地の物産展等を通じて本県の農林水産物の安全性をPRするとともに、「ふくしま 新発売。」のホームページでのモニタリングの検査結果の公表など、消費者の皆様への正確な情報の提供を行いました。



- 道路維持補修費・道路橋りょう維持費

東日本大震災により被害を受けた、子どもたちの通学路を中心に、歩道の補修工事等を実施しました。

